

エコアクション 21 環境経営レポート

(2019年6月01日～2020年5月31日)

2020年7月31日
徳山産業株式会社

CONTENTS

I.事業活動の概要	1
II.環境経営方針	2
III.環境経営目標と環境経営計画	3.4.5
1. 環境経営目標とその実績	
2. 二酸化炭素排出量の実績	
3. 環境経営計画及び取組み結果とその評価	
4. 2020年度の環境経営目標及び環境経営計画	
IV.環境関連法規制等の遵守状況	5
V.代表者の全体評価と見直しの結果	5

I 事業活動の概要



概要

- 事業者名
徳山産業株式会社
- 代表者名
代表取締役 池田 恭二郎
- 住所及び連絡先
〒731-1504
広島県山県郡北広島町寺原 3687
電話番号 0826-72-2294

- 環境管理責任者
取締役工場長 梅田 忠文

- 事業内容
自動車用ゴム部品、
及びその他工業用ゴム製品の
製造販売

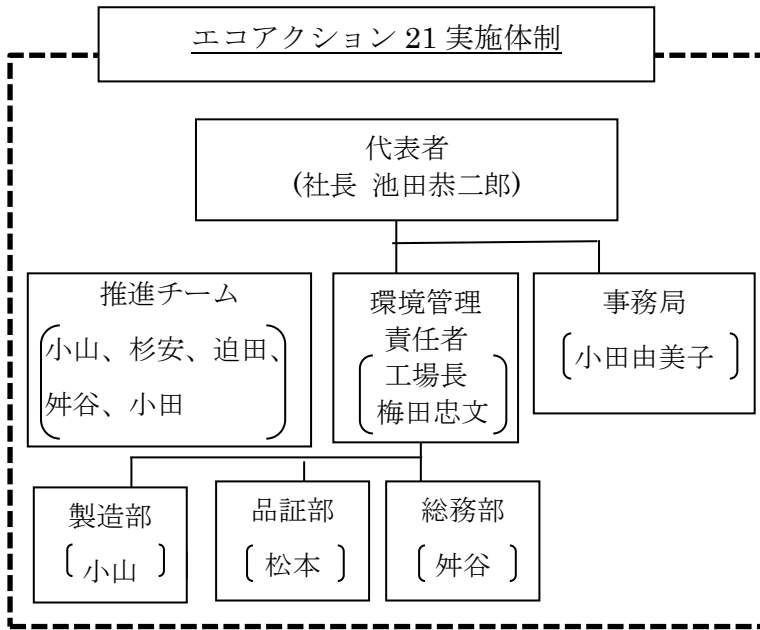
- 設立
昭和 42 年 12 月

事業の規模

- 資本金 1,000 万円
- 売上高 340 百万円
(2019 年 6 月 1 日～2020 年 5 月 31 日)
- 従業員 41 名
- 延べ床面積 1054 ㎡

対象範囲

- 本社・工場



役割・責任・権限

- 代表者
 - ・ EA21 システムの統括
 - ・ 経営における課題とチャンスの明確化
 - ・ 環境経営方針の策定
 - ・ 実施体制の構築
 - ・ 全体の評価と見直し
- 環境管理責任者
 - ・ EA21 システムの構築・運用
 - ・ 上記状況の代表者への報告
- 事務局
 - ・ 環境管理責任者の補佐
- 推進チーム
 - ・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の従業員への周知
 - ・ 環境負荷の把握
- 各部門長
 - ・ 各部門に関連する環境経営計画の実行等 EA21 システムの統括
- 従業員
 - ・ 環境経営方針や各自の役割を理解し環境経営に取り組む

Ⅱ 環境経営方針

【基本理念】

当社は、従業員の豊かな生活の実現と社会の発展に寄与し、企業の社会的責任を果たすため、地球温暖化など環境問題が人類共通の課題であることを認識し、事業活動をとおして積極的に環境保全活動に取り組みます。

【行動指針】

1. 適用される環境関連法規制や顧客要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定めその達成に向けて活動するとともに、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取組として、次のことを推進します。
 - (1) 省資源及び省エネルギー
 - (2) 改善活動と顧客満足度の向上
 - (3) 地域環境に配慮した業務運営

制定日：2008年8月26日

改定日：2018年7月11日

徳山産業株式会社

代表取締役 池田恭二郎

Ⅲ 環境経営目標と環境経営計画

1. 2019年度の環境経営目標とその実績

(1) 環境経営目標

項 目	2019 年度	2020 年度	2021 年度
二酸化炭素排出量の削減 【基準(2017年度)438,918kg-CO2】	2%減 430,139kg-CO2	3%減 425,750kg-CO2	4%減 421,361kg-CO2
産業廃棄物排出量の削減 【基準(2017年度)26.25t】	2%減 25.7t	3%減 25.5t	4%減 25.2t
一般廃棄物の削減(排出袋の削減) 【基準(2017年度)476袋】	2%減 466袋	3%減 461袋	4%減 457袋
改善活動の推進	192件以上	204件	48件 (効果測定実施可能分)
クレームの削減	0件	0件	0件
事業所周辺の清掃活動	2/年	2回/年	2回/年
(備考)			
1. 製品の脱脂用として使用しているトルエンなど少量の化学物質は、適切に管理していることを定期的に確認することとしています。			
2. 水(地下水)は、ほとんどが製造機械冷却水であり自らの判断で削減することが困難です。 そのほか生活排水の節水も定着していることから、削減目標は設定せず、使用量の把握と節水の状況を確認・評価することとしています。			

(2) - 1、環境経営目標の実績(2019年6月~2020年5月)

項 目	単 位	目 標 値	実 績	評価
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	430,139	384,224	○
産業廃棄物排出量の削減	t	25.7	31.0	×
一般廃棄物の削減(排出袋の削減)	袋	466	379	○
改善活動の推進	件	192	264	○
クレームの削減	件	0	8	×
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	2	○
化学物質使用量	ジクロロメタン	kg	—	—
	トルエン	kg	—	—
水使用量	m ³	—	5,223	—

2. 2019 年度の二酸化炭素排出量の実績

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
総排出量 (kg-CO2)	438,918	434,195	384,224
売上当たりの排出量 (kg-CO2/百万円)	1449	1204	1129

電力の CO2 排出係数適用数値・・・

今年度分及び過去年度分とも環境省・経済産業省公表の H29 年(2017 年)度調整後排出係数を適用

エナリス 0.558(kg-CO2/kWh)

中国電力 0.677(kg-CO2/kWh)

サミットエネルギー 0.524(kg-CO2/kWh) H28 年(2016 年)度調整後排出係数

CO2 排出量・・・総計 384,224.83kg

電力：372,652.73kg、ガソリン：2,700.57kg、軽油：2,794.48kg、灯油：5,851.5、他：224.8kg

CO2 排出量の削減値の内訳(対前年増減)総計 49,970.56kg

電力：49650.31kg、ガソリン：-1290.85kg、軽油：1306.07kg、灯油：311.25kg、他：-6.22kg

3. 2019 年度の環境経営計画及び取組結果とその評価

環境経営計画	取組結果と評価
<u>二酸化炭素排出量の削減</u> ・CO2 排出係数の低い業者の選定 <u>電力削減</u> ・空調温度管理の徹底 ・省エネルギー省資源の呼びかけの徹底 <u>化石燃料(ガソリン他)の削減</u> ・異常消費の削減・管理の強化	*CO2 排出係数の低い電気事業者の選定ができ、削減効果が出た *クーリングルームのエアコン補強 3 台実施、工場現場にもエアコン増設実施。温暖化の傾向が強い状況下でエアコンの増設は必須事項になっており、電力削減の大きな負担となっている。節電の気持だけは切らさない様に工夫や声掛けを続けていく。 *営業の活発化・新事業模索の方針下でガソリンと軽油の消費量が膨らんだ、節約や異常消費を目指して管理していく。
<u>産業廃棄物排出量の削減</u> ・不良率の低減 ・分別の徹底 ・指導管理の強化	年間を通じて日々、左記の削減の呼びかけや管理を継続実施しているが、目標に至らなかった。理由として生産量が増えたことが最大要因である。今後も不良低減・使用材料低減等の削減策を進めて行く。
<u>一般廃棄物排出量の削減</u> ・両面コピーの徹底 ・裏紙使用の徹底呼びかけ	コピーの裏紙使用、リサイクル向けとの分別の強化などを進めて目標値のクリアが出来た。
<u>改善活動の推進</u>	年間目標 192 件に対して 264 件と良く頑張れた。内容的に濃い物もあった。来季は社内方針が件数でなく効果の重視とされる予定で件数減にはなりそうである。
<u>クレームの削減</u>	課題の性格上目標値を 0 に設定した。結果は 8 件の発生となった。前期 14 件であったので半減近くまで頑張れた。
<u>事業所周辺の清掃活動</u>	計画回数を達成した。今後も継続的に実施する。

4. 2020 年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標		環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 使用量の目標値	△1% (対 2019 年値) 380,381kg-CO ₂	○電気事業者の選定活動 ○空調温度管理 ○不要照明の消灯 ○化石燃料の消費削減
産業廃棄物排出量の削減 排出目標値	△3% (対 2017 年値) 25.5t	○不良率の低減 ○分別の徹底、他
一般廃棄物排出量の削減 (対象：紙ごみ) 排出目標値	△1% (対 2019 年値) 375 袋	○紙使用の削減呼び掛け ○裏紙使用の徹底呼び掛け
改善活動の推進 (効果測定実施可能分) 提出目標件数	4 件/月	○部門会議での結果報告 ○全体朝礼で提出呼び掛け
クレームの削減 発生日目標件数	0 件/月	○品質会議での結果報告
事業場周辺の清掃活動 実施目標	2 回/年	○地域環境活動 2 回

Ⅳ 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制と遵守状況は以下の通りです。

適用される環境関連法規制	要求事項	遵守評価	備考
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理	○	
毒物劇物取締法	適正管理・表示	○	
フロン排出抑制法	業務用空調設備の簡易点検	○	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、法令違反等の事例はありませんでした。また、過去にわたって関係当局より違反等の指摘や訴訟もありませんでした。

Ⅴ 代表者の全体評価と見直しの結果

2019 年度は、電力使用量は増加したが、購入先等を選別し二酸化炭素排出量は低減できた。電力使用量に関しては暑熱対策や製品品質の向上の為の施策上でやむを得ない結果ではあるが、CO₂ 削減ではまだまだ可能性がある環境になっているので努力する。また、管理・改善の意識のレベルも落とさないように努力する。産業廃棄物排出量削減や一般廃棄物の削減は今後も一層の知恵を出して、低減に向かっていきたい。

☆ 2019年6月14日
地域の共有道草刈活動



☆ 2019年11月8日
地域の共有道草刈活動



☆ 2019年11月01日
新人への油漏出時のマニュアルの教育

